

〈2 月前期選抜〔A 日程〕〉

問題 A（見て描く）、問題 B（想像して描く）のいずれか一つを選び、その解答を鉛筆と色鉛筆を用いて画用紙にフリーハンドで描きなさい（画用紙の裏面に必要事項を記すこと）。なお、選んだ問題（「A」または「B」）を画用紙の右下に明記すること。

【問題 A（見て描く）】

配付された正方形の用紙の片面に○と△を描き、それぞれを異なった色で塗りつぶしなさい。

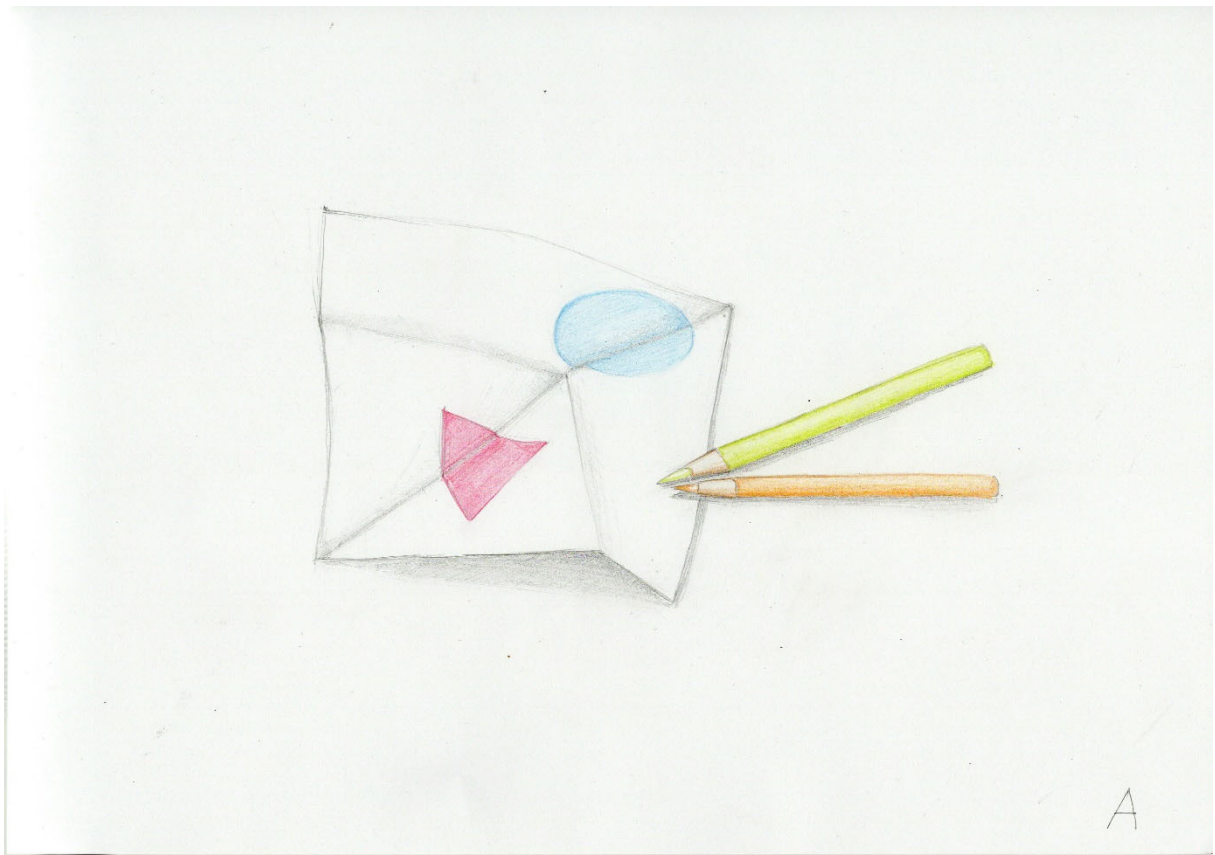
次に対角線で折って三角形を作り、続いて、任意の位置でもう一度折り曲げなさい。○と△が見える方を上にして軽く開き、あなたが持参した机上有る任意の 2 つを置いて、それを見て描写しなさい。

なお、置き方・重なり具合などは自由に設定してよいものとする。

【問題 A の解説】

まず、指示どおりに○と△を描いた状態と、その用紙を折った時の状態をイメージします。このとき、○と△をどれくらい離して描いた方が良いのか、あるいは重ねて描いた方が良いのか、を検討します。また、机上有る 2 つのモノをどのように置くと安定して美しい構図になるのか、そのモノの色と○と△の色との関係もイメージすることも大切です。

実際に指示された状態を作った後、それぞれの材質感が伝わるように描き、陰影もしっかり見て描き込みます。



【問題 B（想像して描く）】

机の上にティーポット，ティーカップ，ティーバッグの3つがある。ティーポットは，透明なガラス製である。ティーポットには蓋がされており，中にはお湯とティーバッグが入れられ，紅茶を淹れる準備がなされている。

ティーポットのそばには，空のティーカップが置かれている。また，ティーポットの近くには開けられたティーバッグのパッケージが置かれている。この状態を想像して描きなさい。

なお，お湯の量や紅茶の濃度，ティーポットのなどのデザインは，自由に設定してよいものとする。

【問題 B の解説】

まず，問題文から描くべき要素をイメージ，下描き用紙に配置や

大きさなどをラフに描きます。紅茶を飲む情景を想像し、各要素の位置関係をよく検討することが重要です。

ティーポットなどのデザインを自由に設定できるため、各要素の比率からデザインや大きさを決めることが大切です。

特にガラスの透明感を出すためには、ガラスの厚みや、反射・屈折を考えて描くことが大切です。

自由に設定して良い机上のティーバッグのパッケージは、他のモノとの関係を見ながらデザインして行くのもポイントです。

